

プロジェクト中間発表会(12/2)



イチゴの防除に関する研究



タラノメの品質検討



ミシマサイコ栽培技術確立



ジベレリン処理の影響



各コースで発表を待ちます



司会と時間計測係は大切な役割



1・2年次生全員で聞きます



先生方も厳しくかつ暖かい目で

「プロジェクト学習」の中間発表の目的は、これまで取り組んだ学習の成果、問題点、到達点を明らかにするとともに、今後の学習をより充実した内容とするための検討を加えることです。卒業論文完成へ向けて、大きな節目となります。研究内容に加え、礼儀正しさやプレゼンテーション能力の高さが求められます。1年次生もよい刺激を受けたでしょう。

BUAISOU. 見学(12/4,12/11)

2年次生の授業「農業巡見」として、上板町の「BUAISOU.」を見学しました。ホームページによると、「2012年に設立。阿波藍の産地として知られる徳島県上板町を拠点に、藍の栽培から、染料となる薬(すくも)造り、藍染液の仕込みと染色、製品に仕上げるまでを自らの手で一貫して行う。薬に木灰汁、ふすま、石灰を混ぜて発酵させる伝統技法「地獄建て」で仕込むBUAISOU.の藍染液は、布や木などの自然素材を深く冴えたジャパン・ブルーに染め上げ、色移りしないという特徴を持つ。」ということです。



藍の畑



薬(すくも)造り



藍染液の仕込みと染色



製品に仕上げる

「農産物販売研修(東京)」(12/5,6)



他県のアンテナショップ視察



商品を陳列し販売準備完了



「どう調理するの?」と聞かれ!



全員そろってポーズ

接客スキルや商品開発力を高めるため、本校生が、生産と加工をした農産物や6次化商品をも、東京都内で販売する実践研修を実施しました。場所は、JR秋葉原駅を降りたすぐにある複合商業施設「ちゃばら」内の「日本百貨店しょくひんかん」でした。また、合わせて、北海道、鹿児島県、秋田県、和歌山県などのアンテナショップや徳島・香川トモニ市場を視察しました。

「きのべ市大売り出し」(12/14)



晴天の中、多くの方に来ていただきました。



サツマイモはつめ放題



試飲を通して、お客さんとのふれあい

一年間の「きのべ市」のご愛顧を感謝して、圃場で育てたものを大放ししました。「どれがおいしいんでえ?」「これなんかどうですか。」「ほうでえ、ほな、ほれにして。」販売実習は、自分たちが栽培したものを、お客さんがどう思うのか直接知ることができる大切な研修です。